

展示	(株)協栄ファスナー工業		
テ - マ	ホースクランプの弾力構造		
開発の狙い	項目	着眼点	効果
	・商品力向上 ・低コスト	ホースクランプ締付部ホース劣化による水漏れ・ エア-漏れの回避とホースへのダメージ緩和	締付トルクの長時間維持
開発進度	1. アイディア段階 (年月 完了予定) 2. 試作・実験段階 (年月 完了予定) 3. 開発完了 段階 (年月 完了予定) 4. 製品化完了	推奨車種 車種を問わず	工業所有権 申請中 1件 取得済 1件 無
	海外対応	可 → アセアン () 中国 インド 否 () その他 ()	主要取引先 マツダ(株)、協栄工業(株)、 (株)メイジフローシステム、(株)佐竹鋸螺製作所、 (株)モルテン
製品概要	従来の作業法	開発品による作業法	
	構造原理	 <p>ホースクランプを結束したい場所に直に固定</p> <p>↓</p> <p>経年劣化によりゴムホースの外形が変化。 結束場所の締付残存トルクが減少。</p> <p>↓</p> <p>水漏れ、エア-漏れの発生 品質の低下</p> <p>自動車用ジョイントホース内径に反発性のある樹脂の部材を付加することによって、その締付部でホースが劣化した場合の外形寸法の減少による締め付け強度の緩みを補い、水漏れやエア-漏れが生じるといった事態を回避することができます。</p> <p>当該製品を使用することによって、残存トルク変化率(%)が大幅に改善されます。</p> <p>↓</p> <p>従来のクランプ：当初の締付トルクに対し、10%程度になっている 当該製品：36%程度 (175でのサーマルショック試験結果による) 詳しい試験結果数字については別紙をご参照ください</p> <p>クランプ締付時にゴムホースにキズをつける可能性も低くなるため、製品の品質向上に繋がります。</p>	
質量		1個当たり3~5gの増加	
コスト		部材の費用は必要ですが、製品の品質向上につながることで、結果的にはコスト削減になります。	
課題	質量の若干の増加と、当面のコストアップ分の吸収		
活用案	自動車生産ライン上、エンジン・補機類組付け工程		
問合せ先	(株)協栄ファスナー工業 代表取締役社長 松本 朗	TEL 0854-62-9700 FAX 0854-62-9696	